



まちフォト

6/22 南尚物語 水の巻 田植え体験会 田んぼに広がる笑い声 泥んこの笑顔



金屋地区の一反五畝の田んぼで南尚物語の田植え体験会が行われ、市内外から約 60 人が参加しました。臼杵市から親子で参加した福田さんは「子どもに田植えを体験させたくて、参加しました。想像していたより難しかったけど、泥の感触が気持ちよかった」。南尚物語実行委員会事務局の渡部眞司さんは「南一郎平によって整備された広瀬井路が完成して約 150 年。当たり前のようにある水のありがたさに感謝し、南一郎平の功績を多くの人に知ってもらいたいと思い、毎年開催しています」と話していました。



6/20 第 6 回宇佐空の郷 七夕飾り 短冊の願い叶いますように

宇佐空の郷で、宇佐海軍航空隊跡保存会の方々と普照こども園の年長児 13 人が参加して、七夕の飾り付けをしました。結び方や飾る位置などを教えてもらいながら「いもうとがほしい」「おいしいものがたくさん食べられますように」などの願いが書かれた短冊を飾り付け、館内には終始元気な笑い声が響きました。保存会の方は「子どもたちに元気をもらえてうれしい。毎年、楽しみです」と話していました。

6/7 福貴野の滝 滝開き安全祈願祭 地域で守る、雄大な景観

観光シーズンを前に、地元の方が丁寧に手入れをした福貴野の滝展望台で地元住民や関係者が出席し、滝開き安全祈願祭が執り行われました。安全祈願祭が終了すると、駐車場で安心院神楽が奉納されました。神楽には、地元の児童も装束をつけ元気に舞を披露し、お菓子や餅をまきました。訪れた人は「マイナスイオンに癒されます。次は、滝つぼにおいて滝を裏側から見てみたい」と話しました。





7/10 御鎮座 1300 年記念 宇佐神宮巫女体験 はかま 袴を身に着け背筋も伸びる非日常

宇佐神宮御鎮座 1300 年を記念して、宇佐神宮で巫女体験が開催されました。県内外から 9 人が参加しました。参加者は、巫女の装束に着替え、神職から宇佐神宮や巫女の衣装の説明、参拝の仕方や玉串を捧げる作法を学んだ後、浦安の舞で使用する神楽鈴と檜扇を扱う所作なども体験しました。参加者は「母から宇佐神宮で見た浦安の舞がとてもすてきだったと聞き、この体験をしたいと思います」と話しました。

6/23 笑いとともに伝統芸能に触れて

安心院支所の多目的ホールで、あじむ寄席中学生向け落語体験が行われました。日本の伝統的な話芸である落語を、子どもたちにも体験してもらうため企画されました。当日は、一人でも何人もの役柄を演じ分け、扇子と手ぬぐいだけでいろいろな情景を表す話芸のほかに、三味線の体験もありました。三味線体験では、姿勢や手の角度まで丁寧に教わりながら弾き、きれいな音が出ると生徒たちもうれしそうでした。



7/11 西大堀地区公園オープン 新しい施設でわくわく健康づくり

建設中の新ごみ処理施設の隣接地にオープンした西大堀地区公園で、トレーニング室などを備えた管理運動施設と屋外ドーム型ランポリンなど施設の一部分が供用開始されました。利用者は、トレーニング室で専門のトレーナーからアドバイスや指導を受けながら、楽しそうにいろいろなトレーニングマシンを試していました。体験学習室などもあり「こんな施設ができるのを待っていた」と話していました。

7/4 いのちの授業～動物とともに生きる～ 動物たちの名前も「さん」づけで

四日市南小学校で 6 年生を対象とした、いのちの授業が行われました。アフリカンサファリ園長で獣医師の神田岳委先生が講師となり「動物も親しみをもって『さん』づけで呼んでほしい。キリンさんの長い足に薬を塗る方法は？」などの楽しい話やライオンさんの赤ちゃんを 3 カ月 24 時間育て、そのライオンさんが老いて死ぬ間際の話など思わず涙が出る場面もあり、一人一人が命について考える時間でした。

